

アマモ苗育成についてのレクチャーを実施（概要）

○日 時 令和7年12月5日（金）

○場 所 貝塚市立二色学園

○参加者数 8名（貝塚市立自然遊学館 山田学芸員、CIFER・コア 中西特別研究員、
貝塚市立二色学園8年生（中学2年生に相当）の生徒3名、教師3名）

○概 要

CIFER・コアが推進するアマモ養成事業の一環として、貝塚市立二色学園にて、育苗セットを用いたアマモ苗の育成についてレクチャーを実施しました。二色学園では、二色の浜に自生するアマモの減少を危惧する担任の先生が、自然遊学館を通じて本活動に関心を持たれました。

レクチャーは、アマモの生活史解説から始め、特に、アマモは海藻ではなく海草であることから、花を咲かせるという点について生徒たちは驚いた様子で、花・花枝・花穂といった形状や見分け方について多くの質問が寄せられました。その後、今年の6月に二色の浜で採取し、自然遊学館で養生・展示されていたアマモ種子の選別と保存の過程を説明しました。生徒たちは、今回の育苗セットを用いる中間育成方式のほか、筏を利用した垂下養生や、現在、CIFER・コアが実験中の播種シート方式についても説明し、多様な育成方法があることを伝えました。

レクチャー後半のアマモ苗の育成方法の解説では、人工海水の作り方や塩分濃度など、実践的な質問が相次ぎ、生徒たちは最適なポットの設置場所を検討するなど、非常に熱心に取り組む様子が伺えました。今後は、アマモの発芽や苗の生育状況を日記として記録することも推奨しています。育てた苗は、来年3月に二色の浜への移植を予定しています。

今回の取り組みは、学校や地域と連携した効果的な環境教育の一例となりました。生徒たちが自分たちの育てたアマモが海に戻されることで、本事業の意義と環境保全の重要性を肌で感じてくれることを期待しています。



レクチャーの様子
アマモ育苗セットの作成



種(花枝)の採取(6月)



種の養生(自然遊学館に展示)